

活力ある「まちづくり」のために！

～徳光スマートインターチェンジ～

路線名 北陸自動車道
所在地 石川県白山市徳光町

白山市はH17.2 に旧松任市など1市2町5村が合併して誕生した人口が約11万人の市です(人口は石川県第2位)^{※1}。また、徳光スマートICは徳光PAに接続し、北陸自動車道金沢西ICから7.8km、美川ICから4.4kmの日本海に面しており、多くの人々に気軽に海と親しみ集える魅力ある海岸「松任C.C.Z.(コースタル・コミュニティ・ゾーン)^{※2}」区域内に位置しています。

旧松任市は、昭和60年ごろから多くの工業団地を造成し、全9箇所が整備(約260社が誘致)され、現在、白山市は製造品出荷額が石川県第2位の工業の盛んな地域となっています^{※3}。

また、白山市では、H16.5 に「白山市まちづくり計画」を策定しており、徳光PA周辺は「いきいきゾーン」として、工業団地の整備や沿道サービス型施設の立地を促進する地域とされています^{※4}。

このように工業がまちづくりの基幹となっている地域にあって、徳光スマートICでは、社会実験期間中の大型車の利用は上り方面のON・OFFのみにも係わらず、図1に示すとおり利用が伸びており、既存の工業団地からも活発に利用されていることが窺えます。また、全車の利用も着実に伸び、現在では約1,000台/日(H18.8)と多くの方に利用されています。

また、社会実験期間中は、交通混雑時間帯(7～9時, 17～19時)の利用が1日の50%を占め、またスマートICと主要な通勤通学地である金沢市内との利用が全体の23%みられ、通勤通学にも利用されています。

徳光スマートICは隣接する美川ICとともに既存の工業団地の物流の効率化、今後の地域の開発を支援や通勤通学への利用の拡大が期待されます。

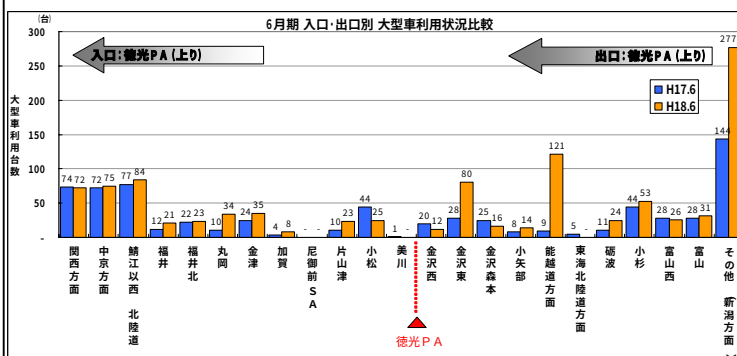


図1 社会実験中の大型車の利用状況



図2 工業団地の立地状況

- ※1：H17 国勢調査
- ※2：全国コースタル・コミュニティ・ゾーン整備推進協議会 HP
- ※3：H16 工業統計
- ※4：白山市まちづくり計画(H16.5)